

別表②

ジュニア検定ターンチャレンジ早見表					
区分	チャレンジ種別	種目	斜面設定・備考	評価方法	合否基準
1級	ターンチャレンジ	総合滑降 リズム変化(2回以上) 最大2回滑走し、2回滑走した場合は、評価の良い方を採用	ナチュラル・中急斜面 約200m パラレルスタンスはワイドスタンスも可 内スキーのアウトエッジを使用	パラレルスタンス・リズム変化・ 斜面对応を◎○△で評価	3項目全て○以上
2級	ターンチャレンジ	総合滑降 リズム変化(1回以上)	ナチュラル・中急斜面 約150m パラレルスタンスはワイドスタンスも可	講習内評価:パラレルスタンス・ リズム変化・斜面对応を◎○△ で評価	3項目全て○以上
3級	ターンチャレンジ	①ベーシックパラレルターン(大回り) ②連続ターン(小)&横向き停止	整地・緩～中斜面 連続ターンのスタンスはパラレル またはブルーク可	講習内評価:運動課題とターン サイズの調整力を◎○△で評価 (2種目)	2種目とも○以上
4級	ターンチャレンジ	連続ターン(大回り)4回転	整地・緩～中斜面 パラレルまたはブルークスタンス可	講習内評価:運動課題とターン サイズの調整力を◎○△で評価 (1種目)	○以上
5級	ターンチャレンジ	連続ターン(目印あり)4回転	整地・緩斜面 パラレルまたはブルークスタンス可	講習内評価:運動課題とターン サイズの調整力を◎○△で評価 (1種目)	○以上
6級	ターンチャレンジ	直滑降から停止	整地・緩斜面 停止時のスキーの向きは自由	講習内評価:停止技術の運動課 題を◎○△で評価(1種目)	○以上
留意事項	*「○」が合格の基準となり、評価は1名または2名の検定員によって実施する *全検定員のそれぞれの評価に数値(◎＝3点、○＝2点、△＝1点)を割り当てた上で平均値を算出し、小数点第1位を四捨五入し最終評価とする なお、平均値を四捨五入した結果が2点となった場合は「○」として合格とする *試技の回数を1回で実施するか2回で実施するかは実施団体が当日の状況をみて判断し、受検者に事前に公示する				

ジュニア検定タイムチャレンジ早見表					
区分	チャレンジ種別	種目	斜面設定・備考	評価方法	合格基準タイムの目安
1級	タイムチャレンジ	制限滑降 中回り(小・大回り含む)	260m×25m以内 中級コース (中斜面) 25本程度	最大2回滑走し、2回滑走した場合は、タイムの良い方を採用	1.5秒×26区間 = 39秒 または前走者のタイムの 120%以内
2級	タイムチャレンジ	制限滑降 中回り(小・大回り含む)	210m×25m以内 中級コース (中斜面)20本程度	最大2回滑走し、2回滑走した場合は、タイムの良い方を採用	1.8秒×21区間 = 38秒 または前走者のタイムの 120%以内
3級	タイムチャレンジ	制限滑降 中回り(小・大回り含む)	160m×25m以内 中級コース (中斜面)15本程度	最大2回滑走し、2回滑走した場合は、タイムの良い方を採用	2.1秒×16区間 = 34秒 または前走者のタイムの 120%以内
4級	タイムチャレンジ	制限滑降 中回り(小・大回り含む)	110m×25m以内 初級～中級コース (緩～中斜面)10本程度	最大2回滑走し、2回滑走した場合は、タイムの良い方を採用	2.5秒×11区間 = 28秒 または前走者のタイムの 120%以内
5級	タイムチャレンジ	制限滑降 中回り	60m×25m以内 初級～中級コース (緩～中斜面)5本程度	最大2回滑走し、2回滑走した場合は、タイムの良い方を採用	3.0秒×6区間 = 18秒 または前走者のタイムの 120%以内
6級	タイムチャレンジ	制限滑降 中回り	40m×25m以内 初級コース (緩斜面)3本程度	最大2回滑走し、2回滑走した場合は、タイムの良い方を採用	3.5秒×4区間 = 14秒 または前走者のタイムの 120%以内
留意事項	*シングルポールを使用し、ポール間隔は10.0mを基準とする *使用するポールはロングボールの他にショートポール、ネットポールでも構わない *試技の回数を1回で実施するか2回で実施するかは実施団体が当日の状況をみて判断し、受検者に事前に公示する				